

令和7年5月 斐伊川水系水質情報

令和7年5月(宍道湖8日・中海6日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
C O D	全層	4.3	△	平 年 並 み	3.1	△	平 年 並 み	3.4	△	平 年 並 み
全窒素	上層	0.31	○	良 好	0.23	○	良 好	0.23	○	良 好
全リン	上層	0.039	△	平 年 並 み	0.030	○	良好(平年並み)	0.030	○	良好(平年並み)
Chl-a	上層	17	△	平 年 並 み	9.5	△	平 年 並 み	7.0	△	平 年 並 み
塩化物イオン	上層	2,790	△	平 年 並 み	11,800	△	平 年 並 み	12,400	×	やや高い
	下層	2,940	△	平 年 並 み	14,800	○	やや低い	13,400	△	平 年 並 み
溶 存 酸 素	上層	9.6		平 年 並 み	8.1		やや低い	8.2		やや低い
	下層	8.3		平 年 並 み	6.4		平 年 並 み	7.9		平 年 並 み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項 目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
C O D	全層	4. 1	横ばい	5. 4	下降	6. 1	下降
全窒素	上層	0. 29	横ばい	0. 31	やや下降	0. 32	やや下降
全リン	上層	0. 036	横ばい	0. 047	下降	0. 034	横ばい

中央湖の透明度は1.2mから1.8mと上昇し、平年並み。中海の透明度は1.8mから1.9mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.4mから2.0mと上昇し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の３倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の２倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 １０年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値－標準偏差値の２倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い>（塩化物イオン）
平均値－標準偏差値の３倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い>（塩化物イオン）

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の 1/2 以上、以下の変化・・・やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍・全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の 1/2 以内の変化・横ばい

平均値±標準偏差値の3倍・・全体のおよそ 99.7%